

平成 29 年度第 4 回麒麟のまち創生戦略会議議事概要

日 時：平成 30 年 2 月 1 日(木)午後 2 時～

場 所：鳥取市役所本庁舎 4 階 2 会議室

出席者：鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、香美町長、
新温泉町長

1 開会

あいさつ

2 報告事項

平成 30 年度地方創生推進交付金を活用した連携事業について 【資料 1】

(平成 30 年度の連携事業について事務局が説明)

《鳥取市副市長》各市町の担当課長会議で協議して、1/25 に申請した。交付決定はいつか。

《事務局》 4 月上旬。

3 協議事項

(1) 平成 30 年度麒麟のまち創生戦略会議について

【資料 2】

(平成 30 年度以降の麒麟のまち創生戦略会議について、コリドー21 を統合する体制について事務局が提案)

意見・質疑応答

《若桜町長》麒麟のまち創生戦略会議については、この内容でよい。

《八頭町長》コリドー21 について説明を求める。

《事務局》 コリドー21 は鳥取・兵庫県境に接する地域で構成している団体である。議長参加で平成 8 年に設立している。各市町から 2 万円の会費を徴収し、「サミット・婚活事業」等を実施している。婚活事業は連携事業として取り組む。鳥取市のサポートセンター事業を活用することを考えている。

《鳥取市長》コリドー21 は、20 年以上の歴史がある。鳥取市は、合併前の国府町が県境に接しており、合併後にメンバーに入った。

《鳥取市副市長》議長参加のサミットは珍しい。智頭町が参加しての麒麟のまちサミットにコリドー21 を発展的に変更してはどうか。

《一同》 了承。

(2) 連携中枢都市圏の形成について

① 連携中枢都市圏ビジョン (案)

【資料 3-1】

② パブリックコメントに対する考え方 (案)

【資料 3-2】

③ ビジョン懇談会での発言要旨及び考え方 (案)

【資料 3-3】

意見・質疑応答

《若桜町長》少子高齢化は若桜町も懸念している。本町も 45% の高齢化率で 2 人に 1 人が高齢者である。出生率が 1.44 と圏域内では最下位である。外部からの移住者を受け入れる体制が課題である。ビジョンに記載されている移住定住の課題

と取り組みが交流に関する記載と一緒にしているので記載内容として弱く感じる。「雇用と移住をつなげて移住者へ紹介する」「移住者のアフターフォローに力を入れる」など具体的な取り組みを書き込んで頂きたい。

《事務局》 対応する。担当と協議して示す。

《八頭町長》67番「圏域防災力の向上事業」で、災害の連携協定を盛り込んで、最終的に1市6町で連携するとよいのではないかと。事業の中に無いので盛り込んでほしい。

《事務局》 67番の事業の中に盛り込む。現在コリドー21で協定を締結している。

《鳥取市副市長》早急に対応できる内容である。

《岩美町長》地方創生交付金のKPIの設定で、圏域への観光入込客数630.5万人～H33年で772万人とある。ビジョンではH34年で620万人。香美町単町として150万人増で間違いないのか。整合性はとれているか。

《事務局》 香美町は、150万人で間違いない。

《岩美町長》5番「関西事務所運営事業」で、現在、関西事務所への職員派遣は人材がいらない。町からの派遣は厳しい。

《事務局》 岩美町は外す。

《岩美町長》17番「麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業」、18番「インターネットショップ事業」の記載で、内容の中に「本市」とあるが「圏域」と修正すべきである。市が運営しているインターネットショップを圏域に広げる意味だと思う。分かるような表現をしてほしい。

《鳥取市副市長》訂正する。

《岩美町長》23番「鳥取自動車道活性化協議会支援事業」について、いつまでやるのか。鳥取自動車道の整備を進めていこうという中で、協議会が発足されて完成した。観光が一緒になってフォトコンテストを実施する事業だと思うが、既に他の団体ができている状況の中で、いつまで残して協定しておくべきなのか問題提起をする。

30番「若者の地元定着促進事業」で、人材確保は市だけでなく各町も同様の課題である。各町にも連携を広げられないのか。

《鳥取市副市長》圏域に修正する。

《事務局》 「圏域の高校生を対象とした、圏域企業見学会を実施する」と表現を修正する。

《岩美町長》84番「移住者への特産品プレゼント」はどうか。岩美町は、移住定住には力を入れているがお試し住宅は利用が少ない。プレゼントではなく、移住するまでの仕組みづくりが大切。移住定住は総務省も関係人口として施策に入れている。例として島根県は島根県に興味ある方にセミナーを実施しており、移住に結び付かなくても地域に興味をもってもらえている。応援団として興味をもっていただき、ゆくゆくは移住者としてきていただける可能性がある。興味がある方を呼び込むための仕組みづくりが必要である。

《鳥取市副市長》課長会議で熟度を上げて検討する。

《新温泉町長》余部鉄橋に素晴らしいクリスタルタワーができた。雪が降るとストップする。ぜひ、「余部鉄橋ウインドスクリーン」をしていただき、風が吹いてもいつでも通れる「山陰本線ノンストップ」の実現を希望する。

- 《事務局》 70 番「JR 山陰本線利用促進事業」の中に要望活動として加える。
- 《鳥取市副市長》麒麟のまち連携中枢ビジョンの名前について、国から地域性がある方がいいのではないかと助言をいただいた。一例として「因幡・但馬麒麟のまち圏域」などである。
- 《新温泉町長》但馬の 1 市 2 町が全部入っていたらよいが、1 町のみである。
- 《鳥取市長》麒麟のまちを付けたら但馬でもよいのではないか。将来的に香美町が参画されることも含めてどうか。
- 《岩美町長》但馬では広いが、麒麟のまちを付ければイメージはつながる。
- 《鳥取市副市長》将来的なことも含めて、麒麟のまちで特定できるとして「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」を進める。

3 その他

- 《事務局》ビジョンは修正したものを作成し、3 月の議会で説明する。ビジョンは議決事項ではない。4/1 に連携協約の締結を考えている。同時にビジョンを公表する。次回、首長会議は 4 月を予定している。連携協約を議案で提案して、各市町で議決をいただき 4 月の連携中枢都市圏形成に向けて取り組んでいく。

4 閉会